

ピックアップ

10月21日(火)に香川県高松市で「LS四国ネットワーキング会 – 豊かさのカタチを変える2つのC」を開催いたしました。当日は脱炭素分野、資源循環分野の2つのCをキーワードに、それぞれの分野で活躍している33の事業者が出展し、取組を進みたい事業者や自治体等あわせて、国内外から232名の参加がありました。詳細は、次号にてお伝えいたします。



ローカルSDGs四国入会のすすめ

LS四国では、SDGsに関する最新情報の発信や多様なステークホルダーとコラボするきっかけづくり、会員限定のオンラインプラットフォーム(Kintone)を利用した情報収集・共有・発信をおこなっています。多様な仲間が集まつたLS四国で、魅力ある持続可能な「四国」を私たちと一緒につくりませんか？

LS四国のメリット

● SDGs経営等の支援

- ・勉強会・交流会への参加
- ・先進事例の紹介や人材育成のサポート
- ・アドバイザーや協力機関などからの助言・協力

● 情報収集・共有・発信

- ・自社の取組を国内外に発信
- ・他会員の取組などの情報をいち早く収集

● マッチング支援

- ・自社の強み(シーズ)を地域課題(ニーズ)に活かす
- ・マッチング支援
- ・アドバイザーや協力機関等からの助言・協力

● 仲間づくり・ネットワークづくり

- ・地域課題の解決に向けた仲間づくり
- ・テーマごとの分科会活動を通じて、多様なステークホルダーと連携し、地域課題の解決に貢献

● 資金調達及び金融連携の支援

- ・ESG金融の取組を促進・支援
- ・国・自治体等が実施する助成制度等の紹介・相談

● 優良な取組の表彰

- ・表彰制度により、優良な取組を強力に発信
- (ローカルSDGs四国表彰)

ローカルSDGs四国(LS四国)会員数

団体会員 235 団体 / 個人会員 4 名 (9月30日現在)

LS四国会員情報



新規会員
募集中！

会員登録は、右の二次元コード・下記URLから！ 会費無料！

https://ls459.net/?page_id=51

※または「入会申込書」に必要事項を記載のうえ、
LS四国事務局 info@ls459.netまでご提出ください。



LS四国共同代表・アドバイザーからのメッセージ



島田 治男(LS四国共同代表 / (一社)香川県中小企業家同友会 副代表理事・環境経営委員会)
「いのち輝く、青い国・四国を次世代へ」を合言葉に、四国の経済の担い手である中小企業と多様な主体の皆さまをつなぐ架け橋となり、四国のSDGs(地域循環共生圏)達成に向け、皆さまの力を合わせていきたい所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



伊香賀 俊治(LS四国アドバイザー / (一財)住宅・建築SDGs推進センター理事長 / 慶應義塾大学名誉教授)
高知県梼原町、愛媛県伊予市を始め、大学の研究者として20年来、カーボンニュートラル化、ウェルビーイングの向上等の取り組みを、自治体・住民の皆さまと共に地元密着で取り組んで参りました。アドバイザーとして、これらの経験をLS四国の活動にも活かしたいと思います。四国の活動が全国の模範として横展開されることを期待しています。



ローカルSDGs四国(LS四国)事務局

環境省中国四国地方環境事務所四国事務所環境対策課 Tel.087-811-7240
四国環境パートナーシップオフィス(四国EPO) Tel.087-816-2232

ホームページ: <https://ls459.net/>
メールアドレス: info@ls459.net



ローカルSDGs四国



いのち輝く、青い国・四国を次世代へ

LS四国ニュースレター Vol.09
(2025年11月発行)

<LS四国ロゴについて>

四国各県の特徴を表す色でローカルSDGs四国のロゴを囲み、循環する様子を表現しています。
徳島:藍 / 香川:オリーブ / 愛媛:柑橘 / 高知:太平洋

LS四国のビジョンについて

自然資源の恵み・つながりを活かし、伝え、地域・社会がそれぞれの特性を発揮しながら、連携して支え合い、SDGsの目指す環境・経済・社会の調和を図りながら持続発展する、活力あふれる四国地域の創造を目指します。

TOPICS LINE [2025年度上半期]

- 団体会員235団体、個人会員4名となりました。(9月30日現在)
- LS四国共同代表に福井智之 氏が就任しました。(9月1日～)
- LS四国総会&LS四国会員交流会を高松市で開催しました。(7月11日)



○ LS四国共同代表に、福井智之 氏(中国四国地方環境事務所四国事務所長)が就任しました。

この度、9月1日付けで四国事務所長に着任いたしました福井と申します。前任地は九州地方環境事務所(熊本県)で、主に国立公園の管理、野生生物の保護などの業務を担当していましたが、最近ではネイチャーポジティブ(自然再興)に関する業務として、生物多様性保全(自然共生サイトなど)に関する業務にも携わっています。四国事務所の業務は、自然保護以外にも脱炭素、資源循環、環境教育など多岐にわたりますが、各分野は相互に関係していますので、分野横断的に総合的な視点で、四国地方における環境行政に取り組んでいきたいと考えています。ローカルSDGs四国(LS四国)では、四国における地域循環共生圏の推進に向けて様々な活動を続けており、今年度は設立して5年目となる節目を迎えました。四国は瀬戸内海、足摺宇和海、四国山地など優れた自然が多く存在し、それに紐づく固有の文化や風土が残る魅力ある地域である一方で、少子高齢化や働き手の不足、大規模自然災害の発生などの課題は顕著になっています。LS四国では、環境課題への対応を通じてこれらの地域課題の解決にも寄与するため、様々なイベントの開催や、情報共有の場の設置などにより、仲間・ネットワーキングづくりを積極的に行っており、持続可能で豊かな四国を皆様と一緒に創っていると聞いています。この方針を引き継ぎ、四国の地域課題解決への貢献とLS四国のさらなる盛り上げに尽力して参りたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

○ LS四国総会 & LS四国会員交流会を開催！

令和7年度ローカルSDGs四国(LS四国)総会を、2025年7月11日(金)に香川県高松市で開催。昨年に引き続き、会場とオンラインのハイブリッド形式で実施しました。昨年度の事業報告を皮切りに、会員規約の改定、役員の選出、今年度の事業計画を会員の皆さんに提案し、全議事において承認されました。また各分科会から活動報告をいただきました。今年度は広報の強化や、ロードマップの推進、分科会活動の活性化等を念頭に、LS四国のビジョンと行動指針を踏まえ、各取組を実施していきます。総会終了後は、LS四国の役員や会員、協力機関の皆さんと直接情報交換ができる交流会を開催。情報交換の前にアイスブレイクの時間を設けすることで、参加者同士の交流も進み、会場の利用時間いっぱいまで情報交換ができました。引き続き、このような場を設定し、交流の機会を作っていきます。



《役員の選出(左)、分科会の活動報告(右)》

令和7年度事業計画

広報の強化
(広報戦略に基づく広報の推進)

2030年に向けた
LS四国
ロードマップ推進

分科会活動の
活性化(支援)・
情報共有化

マッチング・仲間づくり、さらにその後の事業創出につながる対話の場・共創の
場づくり(イベント・学びの場づくり等)



[2021年設立]
ローカルSDGs四国
(LS四国)とは…

四国の地域課題を解決し、持続可能な地域づくりを進めていくための「地域循環共生圏=ローカルSDGs」の達成に向けて、積極的に取組を推進するプラットフォームです。詳細はホームページで！ <https://ls459.net/>
環境省中国四国地方環境事務所四国事務所と四国環境パートナーシップオフィス(四国EPO)が運営しています。

8つのチームが地域課題の解決をめざす！

分科会は、ローカルSDGsの実行役として自立型で運営し、テーマに沿ってさまざまなプロジェクトを実施しています。各分科会の活動にご関心がある方は、各分科会事務局へご連絡ください。

また分科会の立ち上げを希望される会員の方は、「分科会登録申請書」をLS四国事務局までご提出ください。

『森里川海プロジェクト・LS四国』企業交流会分科会

環境省の提案する「つなげよう、支えよう、森里川海プロジェクト」に賛同し、「地域循環共生圏づくりに一人一人、一社一社が取り組むSDGs」を掲げ、取り組んでいます。2024年2月に高松市で開催した企業交流会は、同年11月に岡山県倉敷市でも開催。当時は、国内から130名以上の参加者が集まり、サステナビリティがもたらす企業価値と地域の発展について議論を深めるとともに、情報共有と交流を通じた連帯を深めることができました。次回は2026年2月6日に「森里川海プロジェクト・ローカルSDGs四国企業交流会 in 高知～地域とともに、未来をつくる企業ネットワーク～」の開催を予定しています。皆さまのご参加をお待ちしています。

昨今のSDGsの流れや動きについて情報発信を行い、地域循環共生圏の理解、また『森里川海プロジェクト』及びLS四国への賛同者の連帯と普及、さらには所属員一人一人のSDGs取組とガバナンスの関係を考える場づくりを進めます。

事務局 株式会社藤木工務店四国支店
〒760-0077 香川県高松市上福岡町778-1
【TEL】087-837-7272
【E-mail】mmiyata@fujiki.co.jp

SDGs事業促進検討分科会

※今年度は活動休止中です

事務局 三井住友信託銀行松山支店
〒790-0003 愛媛県松山市三番町4丁目11-1
【TEL】089-932-2212
【E-mail】G.MATSUYAMA.HOU1TEAM@smtb.jp

LS四国kintone

LS四国会員のみ
ご利用いただけます。
(2021年9月より運用中)



会員等同士でのコミュニティづくり、情報収集・共有・発信するためのオンラインプラットフォーム！

- ・一緒に取組を行う仲間づくり
- ・自社の取組紹介、イベント広報
- ・官公庁の助成制度などの情報収集
- ・SDGsやESG等に関する情報収集 など
- ・多様なステークホルダーとの対話
- ・官公庁等へのお悩み相談

「kintone」は
サイボウズ社の
登録商標です。

多文化共生型の減災社会づくり



2025年3月に香川県丸龜市で、多文化共生防災・減災ワークショップを開催しました。当時は、大手前丸龜中学校・高等学校の生徒が「防災」「減災」「やさしい日本語」について学ぶと共に、①避難行動(揺れマット体験)、②避難所誘導(非言語ツール・サインの活用)、③避難所(パーテーションや簡易ベッド、段ボールトイレの組み立て)、④避難所(非常食)の4グループに分かれ、外国人への説明方法を考えいただきました。



その後、実際に在住外国人へのワークショップを実施。防災・減災教育に加え、異文化理解や多文化共生、国際交流などを学び・体験する機会を提供しました。

JICA四国センターと連携し、「NGO等提案型」プログラムのフォローアップとして、四国内で多文化共生型の減災社会づくりの普及啓発を進めます。

事務局 特定非営利活動法人四国グローバルネットワーク

〒790-0803 愛媛県松山市東雲町5-6
【TEL】089-993-6271
【E-mail】sakusaku@sgn.or.jp

四国の森自然再生ネットワーク



里山から奥山までを対象に、四国全体の自然再生活動をつなぐネットワークの構築をめざし活動しています。2025年度は事務局体制を整え、ウェブサイト構築によるネットワーク体制を強化する予定です。また、7月26日に「本来の姿の自然を未来に伝える地域性種苗の活用と外来植物防除」をテーマに自然再生セミナーを開催しました。兵庫県立人と自然の博物館の橋本由伸先生を招き、地域性種苗の活用や外来植物の繁茂への対応について学びました。本セミナーは、NPO法人由良野の森、久万高原自然再生協議会と共に開催し、YouTube liveでも配信しました。

里山から奥山までを対象とした四国全体の森の自然再生活動をつなぐネットワーク構築を目指しています。

事務局 特定非営利活動法人由良野の森

〒791-1222 愛媛県上浮穴郡久万高原町二名乙787-13
【TEL】089-50-1977
【E-mail】yuranonomorisdgs@gmail.com

新規設立(2025年7月～)

四国災害ボランティアネットワーク



南海トラフ地震が来た際、陸の孤島になる恐れがある四国で、自分たちのまちを自分たちで守ることを目的に設立しました。自分たちのまちを自分たちで守る支援者を育成することを目的に、情報共有会議を開催します。ぜひ、皆さまのご参加をお待ちしております。

事務局 四国災害ボランティアネットワーク

〒761-0123 香川県高松市牟礼町原48-7
【TEL】090-4971-8562
【E-mail】kasetu@shirt.ocn.ne.jp

四国ESDチーム



1. 四国ESDバーチャル大学
どこにいてもいつでも気軽にESDに触れることができるよう、「気候変動教育」をテーマにオンラインで開催。今年度は特別企画として大阪・関西万博2025の会場でも実施しました！

2. 四国ESDフォーラム2025
高知県室戸市において「ジオパーク」をテーマに開催。ジオパークにおける教育活動の成果について議論し、四国の持続可能性を学び、考える機会となりました。



- ①四国のESD拠点ネットワーク形成
- ②四国ESDバーチャル大学の開催
- ③四国ESDフォーラムの開催
- ④ESDに関する情報発信

事務局 四国地方ESD活動支援センター

〒760-0019 香川県高松市サンポート3-33南館2F
【TEL】087-823-7181
【E-mail】info@shikoku-esdcenter.jp

南海トラフ地震 香川液状化対策コンソーシアム



南海トラフ地震による香川での液状化被害の減災に努めるため、異業種の有志で設立した本分科会は、液状化メカニズムの認識や被害可能性の調査・判定、対策の検討や人材育成を実施しています。2024年度に、国土交通省の告示が改定され、PDC試験(地盤の液状化強度の評価を目的とした地盤調査技術)の結果を建築物基礎設計に利用できるようになりました。2025年度は、従来のPDCより更に正確なデータが取得可能なIPDC(二成分センサー)に関するセミナーの開催を予定しています。



液状化のメカニズムの認識、被害の可能性の調査・判定、対策の検討、人材育成等について取り組みます。

事務局 株式会社FACE

〒761-0823 香川県木田郡三木町井戸2830-33 FACE内
【TEL】087-813-6811
【E-mail】info@face215.com

地域エネルギー分科会



私たちは、バイオマスや小水力発電、営農型太陽光発電等、地域エネルギーの循環を横展開していくために、中小企業家が集まってできた分科会です。2024年度は、四国4県の中小企業家同友会の環境経営委員会と、環境・ディーセントワーク委員会の活動報告の後、再生可能エネルギーと地域脱炭素ビジネスについての講演、および、意見交換を実施しました。2025年度は3月に、香川県で開催を予定しており、分科会から四国が元気になるように活動を展開していきたいと思います。



四国内の再エネ事例の調査

- ・内子バイオマス発電所、高知での小水力発電、各地での営農型発電等を四国内に水平展開する
- ・分科会メンバー、一般市民向け再エネ学習会実施
- ・太陽光、小水力、バイオマス、バイオガス等、事業化に向けての発電方法の検討
- ・検討を踏まえた再生可能エネルギーの事業化
- ・地域電力会社の設立

事務局 一般社団法人香川県中小企業家同友会(2025年度)

〒761-0301 香川県高松市林町2217番地15
香川県産業頭脳化センタービル4階
【TEL】087-869-3770
【E-mail】info@kagawa-doyukai.com